

東京農業大学

入試の
お問い
合わせ

入試センター
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
☎03-5477-2226 FAX03-5477-2615

資料請求		
	願書	パンフ
完成時期	10月上旬	配布中
料金	無料	無料
発送サービス	トップハガキ	<input checked="" type="checkbox"/> ハガキ

2006年度入試のポイント

- 2006年4月、農学部バイオセラピー学科が、生物産業学部にアクアバイオ学科が誕生します。
- 一般入試は、期と期があります。期は全学部で実施。3日間の試験日から受験日を自由に選択できます。3日間とも同じ学科にチャレンジすることも可能です。期は生物産業学部で1日のみ実施します。

2006年度推薦入試

■一般推薦

- 募集人員 農一農66、畜産54 応用生物科バイオサイエンス24、生物応用化25、醸造科28、栄養科(食品栄養学)10、栄養科(管理栄養士)10 地域環境科一森林総合科35、生産環境工35、造園科35 国際食料情報一国際農業開発45、食料環境経済66、国際バイオビジネス51 生物産業一生物生産40、食品科32、産業経営52

※バイオセラピー学科とアクアバイオ学科は募集要項を参照
●出願資格 専願 1浪可 評定平均値：普通科・総合学科=3.5/その他の学科=4.0 各学科の推薦入学者としての要件を満たしている者(詳細は要項などをご確認ください)

- 選抜方法・日程 書類選考・作文(800字)・面接 出

学費・奨学金制度

初年度納入金(2006年度)

1,243,400円～1,514,300円

※学部学科により異なる。

※前期・後期分納可

TOPICS

2006年4月開設予定の新学科

【バイオセラピー学科】

神奈川県厚木キャンパス、農学部に開設予定。癒し、やすらぎといった、わたしたち人間の生活の質(QOL)の向上に対する動植物との関わりを有効性を追究します。

「植物共生分野」では、植物自然環境の保護・保存・保全・育成をテーマとし、またこれまで人間が傷めてきた環境を植物育成・栽培技術によりいかに回復・再生させるかを追究します。

「動物共生分野」では、野生動物の生態・行動・保全や、伴侶動物の飼育・繁殖の技術、伴侶動物に対する社会ニーズといったテーマに取り組みます。

「生物介在療法分野」は、園芸療法やアロマセラピーといった療法の手法とシステム開発を追究。障害のある人を支える介助動物や、心身発達段階での教育における動物の活用法なども

研究します。

【アクアバイオ学科】

北海道網走市のオホーツクキャンパス、生物産業学部に開設予定。「環オホーツク地域」をフィールドとし、水圏(アクア)の生物(バイオ)を学びます。

「オホーツク水圏環境分野」では、水圏環境の生命のメカニズムについて、森林、河川・湖沼といった陸の生態系とのつながりを含めて追究し、人間の活動との関係や保全について学びます。

「水産資源分野」では、水産資源の安定した市場供給を目標とし、持続可能な水産業を確立するため、生態系の把握と保全・管理を学びます。

「アクアバイテク分野」では、水圏生物をバイオテクノロジーの分野から追究。性フェロモンなどの繁殖生化学や魚病の感染・発病プロセスなどを解明し、水産増殖やクローン、トランスジェニック(遺伝子組換え)魚などの技術に応用させることをめざします。

JABEE認定の教育プログラム導入

地域環境科学部では、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定の教育プログラムを導入しています。JABEEとは、科学技術者として最高レベルの資格「技術士」の養成プログラムを審査・認定する非政府団体で、この教育プログラムを終了すれば、技術士になるための一次試験を免除、「修習技術者」になることができます。

世界をリードする研究

東京農業大学では、最先端の研究が数多く行われています。

2004年には、バイオサイエンス学科の河野友宏教授が、精子を使わず、卵子だけでマウスの子どもを誕生させることに成功し、バイオサイエンス界の一大ニュースとして、世界中の注目を集めました。この研究成果は、遺伝子の働きをコントロールしている仕組みの一端を解明したもので、まさに「ポストゲノムの時代」の研究といえます。このような世界をリードする研究に直接触れられることは、東京農業大学の

情報入手方法

ホームページ

<http://www.nodai.ac.jp/>

E-mail

nyushi@nodai.ac.jp

オープンキャンパス

- 8/6・7 (世田谷・厚木キャンパス)

- 8/27・28 (オホーツクキャンパス)

10:00～17:00

【内容】模擬講義、学科別マナビ体験、施設探検、入試対策講座など

学園祭(収穫祭)

10/28～30 (世田谷)

10/29・10/30 (厚木)

10/9・10 (オホーツク)

10:00～16:00

【内容】文化芸術展、模擬店、進学説明会(学科別個人相談/入学試験対策講座/願書無料配布)など。

※世田谷の進学説明会は10/29・10/30のみ

2005年度入試結果

学部	定員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
農学部	440	2,872	2,675	731	3.7
応用生物科学部	580	6,812	6,453	964	6.7
地域環境科学部	420	2,379	2,291	737	3.1
国際食料情報学部	530	1,932	1,858	801	2.3
生物産業学部	310	1,241	1,172	550	2.1

2006年度一般入試科目・日程

学部・学科・方式	募集人員		入試科目 (配点)	出願期間	試験日	合格発表	手続 締切
	前期	後期					
農 畜産 バイオサイエンス 生物応用化 醸造科 栄養科 (食品栄養学) 栄養科 (管理栄養士) 森林総合科 生産環境工 造園科 国際農業開発 食料環境経済 国際バイオビジネス 産業経営 生物生産 食品科	132	—	英語(100)、国語(表現区、総合)・ 数学区A・情報関係基礎から1科目 (100)、生物区・化学区から1科目 (100) 英語(100)、国語(表現区、総合)・ 数学区A・情報関係基礎から1科目 (100)、地理B・数学区・物理区・ 生物区・化学区から1科目(数学区は 生産環境工のみ選択可)(100) 英語(100)、国語(表現区、総合)・ 数学区A・情報関係基礎から1科目 (100)、世界史B・日本史B・地理 B・政治経済・生物区・化学区から1 科目(100) 英語(100)、国語(表現区、総合)・ 数学区A・情報関係基礎から1科目 (100)、生物区・化学区から1科目 (100)	1/6~1/30	前期 2/8 2/9 2/10 受験日 自由選択 前期 2/8 2/9 2/10 3/4	前期2/21 前期2/8 前期2/21 前期3/10 前期3/4	前期3/1 前期3/1 前期3/10 前期3/17
	108	—					
	101	—					
	100	—					
	97	—					
	65	—					
	65	—					
	90	—					
	90	—					
	90	—					
	80	—					
	134	—					
	99	—					
	44	18					
33	14						
27	11						

※2006年4月開設予定の農学部バイオセラピー学科と生物産業学部アクアバイオ学科の詳細は募集要項を参照

2006年度センター試験利用入試科目・日程

方式	学部・学科	募集人員		入試科目 (配点)	出願期間	試験日	合格発表	手続 締切
		前期	後期					
農 畜産 バイオサイエンス 生物応用化 醸造科 栄養科 (食品栄養学) 栄養科 (管理栄養士) 森林総合科 生産環境工 造園科 国際農業開発 食料環境経済 国際バイオビジネス 生物生産 食品科 産業経営	22	—	英語(200)、国語・数学区・数学区A・数学区・数学区 B・情報関係基礎から1(200)、化学区・生物区から1 (200) 英語(200)、化学区(200)、生物区(200)、国 語・数学区・数学区A・数学区・数学区B・情報関 係基礎から1(200) 英語(200)、国語(200)、数学区・数学区A・数学 区・数学区B・情報関係基礎から1(200)、物理 区・化学区・生物区から1(200)、世界史B・日本 史B・地理B・現代社会・倫理・政治経済から1 (200) 英語(200)、数学区・数学区A・数学区・数学 区B・情報関係基礎から1(200)、世界史B・日本史 B・地理B・物理区・化学区・生物区・地学区から1 (200) 英語(200)、国語・数学区・数学区A・数学区・数学 区B・情報関係基礎から1(200)、世界史B・日本史 B・現代社会・倫理・政治経済から1(200)、化学 区・生物区から1(200) 英語(200)、国語・数学区・数学区A・数学区・数 学区B・情報関係基礎から1(200)、世界史B・日 本史B・地理B・現代社会・倫理・政治経済・化学 区・生物区から1(200) 英語(200)、国語・数学区・数学区A・数学区・数 学区B・情報関係基礎から1(200)、世界史B・日 本史B・地理B・現代社会・倫理・政治経済・化学 区・生物区から1(200) 英語(200)、国語・数学区・数学区A・数学区・数学 区B・情報関係基礎から1(200)、化学区・生物区から1 (200)	1/6~1/20	前期 1/6~ 1/20 前期 2/14 ~2/24 密2/27	個別 試験 は 課 さ な い 前期 2/21 後期 3/10 後期 3/17		
	18	—						
	15	—						
	15	—						
	15	—						
	5	—						
	5	—						
	15	—						
	15	—						
	15	—						
	15	—						
	20	—						
	20	—						
	10	3						
8	2							
13	3							

※英語は筆記のみ、国語は近代以降の文章のみ。

※2006年4月開設予定の農学部バイオセラピー学科と生物産業学部アクアバイオ学科の詳細は募集要項を参照

区・区

地方試験

公募制

帰国

外国人

社会人

編入

農

応用生物科

地域環境科

国際食料
情報

生物産業